

家庭学習見守りヒント集

1, 2年生

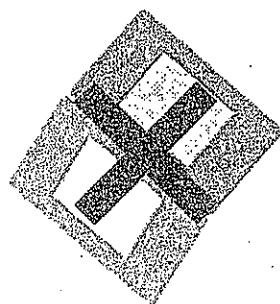
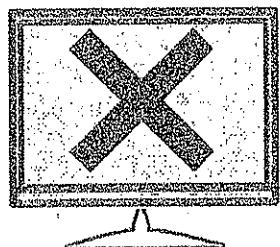
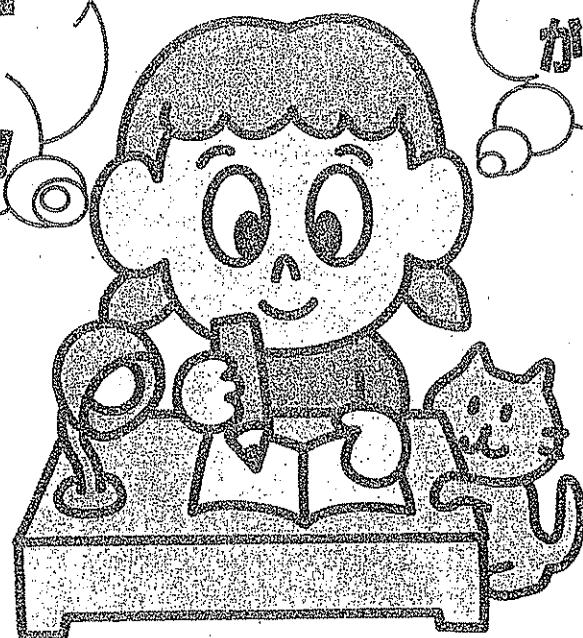
30~45分は
勉強するよ！

3, 4年生

45~60分は
がんばります！

5, 6年生

60~75分は
やるぞ！



も

く

じ

Q 1

テレビを消すように言って
も、なかなか言うことを聞か
ない時どうしていますか？

→1ページ

Q 2

仕事の帰りが遅くて、じっく
りと勉強を見てあげられない
ときはどうしていますか？

→2ページ

Q 3

どんな言葉がけをすれば、子
供はやる気をだすのかしら？

→3ページ

Q 4

「一人勉強で何をやつたらいい
いか分からない」と
言われたら、どんなアドバイ
スをしていますか。

→4ページ

Q 5

どんな工夫をすれば家庭学習
に楽しく取り組むようになり
ますか？

→5ページ

Q 6

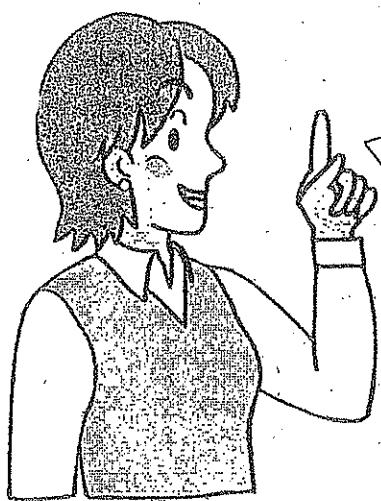
家庭学習にかかる悩み、疑
問にお答えします。

→6～9ページ

Q1 テレビを消すように言っても、なかなか言うことを聞かない時どうしていますか？

ご家庭で実践している方法をいくつか紹介します！

工夫型



- ① テレビのない部屋で勉強させます。
- ② どうしてテレビを消さなくてはならないか、その理由を話して聞かせます。
- ③ 見たい番組を決めて、勉強時間と重ならないように工夫しています。
- ④ どうしても見たい番組が勉強時間と重なる場合は、録画しておきます。

回答無用型

- ① 言うことを見かけないときは、きびしく叱ります。
- ② 強制的にテレビのスイッチを切ります。
- ③ テレビの元電源を切ったりコンセントを抜いたりします。
- ④ 宿題が終わってから見るよう言い聞かせます。



Q1 仕事の帰りが遅くて、じっくりと勉強を見てあげられないときはどうしていますか？



子供との対話型

- ① 宿題だけはするように、事前に声をかけておきます。
- ② 家に帰ってから、子どもにどんな勉強をしたか聞いて確かめます。

後で確認型

- ① 翌朝に見るようになります。
- ⑤ 仕事が休みのときには、必ず見るようになります。
- ③ 休みの日に1週間分まとめてみます。
- ④ 終わった宿題を机やテーブルに出させておいて、子どもが寝る前や朝にチェックややり直しをさせています。



なるほど工夫型

- ① 祖父母に見てもらっています。
- ② 兄弟姉妹で確かめ合うようにしています。
- ③ 時間があるときは、とことん付き合うようにしています。
- ④ 電話やメールで確かめやアドバイスをしています。



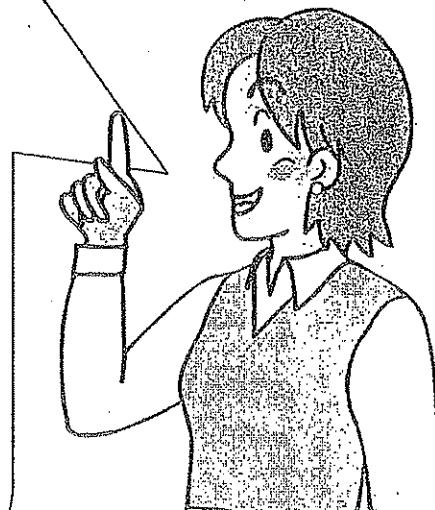
Q3 どんな言葉かけをすれば、子どもがやる気になってくれるかしら？

ほめほめ型



- ① とにかくほめてあげます。オーバーにほめると効果的ですよ！
- ② 「一緒にやってみよう！」と声をかけると、やる気になってくれます。
- ③ 励ましの言葉をかけることも大事ですね。
- ④ まちがったところをやり直しさせ、できたときには【じっくり考えるとできるね】とほめたら、自信につながりました。
- ⑤ 「自分のペースで1つずつ覚えていくことが大切だよ！」と、子どもに話しています。
- ⑥ 先生からの印やハンコ、励ましの言葉がけがあったときは、「すごいね！」とほめてあげました。
- ⑦ 「ちゃんとやれば先生にほめてもらえるよ」と言っています。

色々工夫型



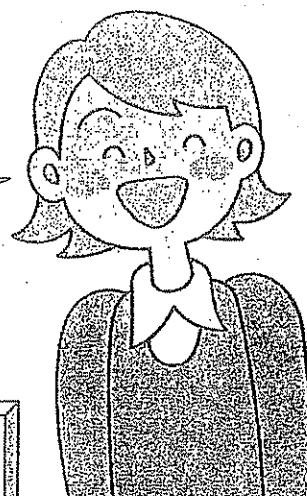
- ① 何時から勉強を始めるか、自分で決めさせます。親が決めるのではなく、自分で決めたことなので、その時間になると始めるようです。
- ② 好きな番組やゲームなど、楽しいことをやった後に声掛けをすると、やる気を出してくれました。
- ③ 「自分がやりたいこと（ゲームやテレビ等）をする前に勉強を済ませておくと、後で大変な思いをしないよ」と声掛けをしています。
- ④ 「大人は勉強をしなくていい！」と思っているようなので、自分が子どもの頃の話をあげます。楽しい話を聞かせた後に、「がんばれ」と励まします。
- ⑤ 勉強した後にチェックや一言書き、シールを貼るなどすると、それが楽しみでやる気を出してくれます。

Q4

「一人勉強で何をやつたらいいか分からない」と
言われたら、どんなアドバイスをしていますか。

定例型

- ① 計算スキルや漢字練習、日記をいつもやらせています。
- ② 習い事や市販のワーク与えてをやらせています。



選択型



- ① いくつか案を出したり、自分の好きな教科から選ばせたりして、一緒にやってみたらどうでしょう。
- ② その日の学校の勉強の中で、【好きなもの】【嫌いなもの】をそれぞれ1つずつやらせてみました。
- ③ 普段から苦手なものを把握しておき、聞かれたらそれらをするようにアドバイスしています。

先生からのアドバイス

授業と関連した内容の【一人勉強】をさせることも効果的です。

○国語

- ① 教科書を視写をし、それを音読する。(予習)
- ② 読めない漢字や言葉を見つけてノートに書き出し、読み方や意味を調べる。(予習)

○算数

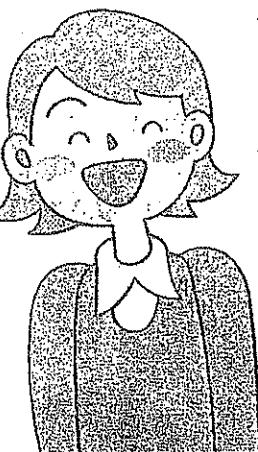
- ③ 今日習った学習の問題を、教科書やドリルから見つけて練習する。(復習)
- ④ 習った式をもとに、自分で問題文を作る。



Q5 どんな工夫をすれば家庭学習に楽しく取り組むようになりますか？

一緒にやる型

- ① 「今日好きになった勉強は何？」と聞いて、「もっと好きになろう」と声がけして一緒にやってみるとがんばってやるようになりました。
- ② 親も一緒になって、計算の競争をしたり、友だちの名前を使って例題を作ったり、絵を描いて分かりやすくした問題を作ってあげたりすると、喜んで勉強しました。
- ③ とにかく、一緒に勉強することです。



グッドタイミング型

- ① 家の手伝いを一つお願いしたら、その後、一人で勉強をしているようです。
- ② 興味を持った時に、関連する本や図鑑、辞典を与えると、意欲的に勉強しました。
- ③ テンポよく、一緒に答え合わせをします。



環境美化型

- ① 「勉強部屋の美化！」
部屋や机上がすっきり片付いていると、すんなり机に向かいました。
できれば自分のことは自分でと思っていますが、放っておくと大変なことになったので、つい手を出してしまいました。



Q6

家庭学習にかかる悩み、疑問にお答えします！

アンケートに寄せられた質問に、一方井小学校の先生方が答えてくださいました。



Q1 辞書を引く習慣をつけさせたいのですが。聞かれると、つい親が答えて終わりにしてしまいます。



ちゃんと答えてあげているのがすばらしいですね。辞書は知識の宝庫です。子供たちの知的な欲求に答えてくれます。そこで、

- ① できれば子供用の使いやすい辞書を近くに置いてください。
- ② 質問された時は、まず「どういう意味だろうね。」などと親も興味を示してください。それから、「一緒に調べてみようか。」と辞書をひくことを促します。中学年以上には「調べて教えてちょうだい。」でもOKです。
- ③ 調べた言葉には、マーカーなどで印をつけておくといいですね。付箋紙(ふせんし)を付けておくと、自分が調べた足跡が残って喜びます。

Q2 学校行事などで子供が疲れて帰ってきて、宿題が多く出された時にはどうしたらいいでしょう。



行事や子供たちの体調を考えながら、家庭学習の量を調整して出すのは、学校の役目です。これからは、負担が大きくなり過ぎないように十分配慮いたします。

学校行事等の後に限らず、普段でもお子さんの体調を第一に考えてあげてください。「今日は疲れているんだから、ここまでにしよう。」「今日の分は明日がんばればいいんだから。」と言って安心させてあげてください。



Q3 「家庭学習がんばりカード」(記録用紙)のある時は頑張りますが、ないとなかなか目標がつかめず、短時間で終わらせることが多い、習慣化にこぎつけません。ノートに自由にといっても、小学生にはなかなかむずかしいようです。(同じ悩みがたくさん寄せられました)

親が言わなくとも、お子さんが自分から机に向かってくれるようになつたら嬉しいですよね。;

今取り組んでいる「家庭学習がんばりカード」は、お子さん自身が自分の学習の仕方を客観的にふり返ることにも役立ちます。そして、やがては習慣化にこぎつけたいものです。そこで、

① このヒント集を参考に、これからもお子さんを「励ましたり」「ほめたり」しながら、応援してください。

② 高学年では、学校から出された宿題以外に、「一人勉強ノート」に自分で考えた勉強ができるようにしていきたいものです。例えば、

(例1)「東京スカイツリー」に興味を持ったならば、それについていろいろと調べてみる。(高さ、目的、かかる費用……)

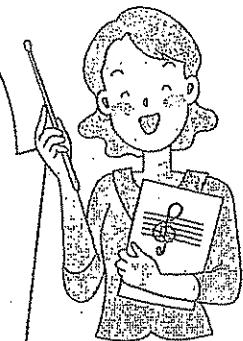
(例2)戦国時代の武将の中から、自分が好きな武将を一人選んで、その人について徹底的に調べてみる。

(例3)身の回りにある英語をたくさんノートにカタカナで書き出す。

○知っている色 ○知ってる動物 ○知ってる食べもの ○知ってるあいさつ……

(例4)お母さんから教わった料理の手順を、絵と言葉でノートに書き出してみる。これもりっぱな「家庭科」の勉強です。

どれも、楽しそうですよね。興味さえ持てば、子供たちは時間を忘れて調べたり書いたりするものです。担任からも「これをやってみたらどう」と、ヒントを出すようにしていきます。



Q4 低学年でも、自分で工夫してできる勉強はありますか？



もちろんたくさんあります。遊び感覚で楽しくできますよ。

(例1)ノートに「しりとり」を書く。お母さんと交互に言葉を見つけても楽しいですね。

(例2)図鑑でみた「カブトムシ」の絵をノートに写す。

(例3)自分でお話を作る。主人公の名前を考えるのも楽しいですよ。

(例4)答えが10になるたし算の式を全部見つける。0+10, 1+9……。





Q 5 学校の授業と家庭学習は何かつながりがあるのですか？これを勉強していくと明日学校の授業でいいことがある（役に立つ）というような、つながりがあるとやる気が出ると思うのですが？

とても大切な指摘をしていただきました。

学校でもこれから「授業と連動した家庭学習」について検討してまいります。

例えば、授業で「こそあど言葉」の勉強をした日には、家庭学習でも「こそあど言葉を使った文作り」をしてみる、というのもいい復習になりますね。

また、次の日の社会で「奈良の大仏はどんな目的で作ったのだろう」という課題について勉強することになっている時は、そのことについて予習していくと、きっと学校の授業もよく理解できるでしょう。

子供たちが「やってみたくなる」ようなテーマやヒントの出し方について、これから検討していきたいと思います。



Q 6 「時間」の目標を設けるのはナンセンスだと思います。同じプリントをしても、速さは人によって違うわけですから。どうしても早く終わらせて遊びたいという発想になると思います。

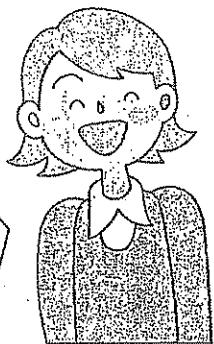
小学校の時期に一番大切なのは、「家庭学習を習慣化する」ことだと思います。時間はあくまでも目安です。高学年だと「60分以上」と設定していますが、与えられた宿題やプリントだけの勉強だと、早い子は30分もかからないで終わらせることができるでしょう。

そこで、その後の30分を「自分で工夫した学習（一人勉強）」に当ててほしいのです。前に出たQ3やQ4のように楽しく工夫した学習ができるようになってほしいと願っています。「自分が知りたいこと、やりたいことをやれるって楽しいことなんだ」そういう実感を持ちながら、家庭学習の習慣を身につけていってほしいですね。





Q7 もともと家庭学習は楽しいものではないと思います。次の日、学校で先生に怒られるのがいやだからどの子も家庭学習をしているのではないかでしょうか。



Q6の質問ともかかわりますが、「勉強って本来楽しいもの」ではないでしょうか。学校であれ、家庭であれ、勉強して「新しいことが分かった」「できなかったことができるようになった」、そういう時に子どもたちは、勉強の喜びや楽しさを感じています。

ただし、勉強には「やらなければならぬ勉強」と「やりたい勉強」の二通りあります。その学年で習う漢字が書けるように練習したり、算数の計算が正しくできるようになることなどは、「やらなければならぬ勉強」です。2年生のかけ算九九は、2年生で確実に身につけさせなければ、後でその子が苦労することになります。

「やりたい勉強」にきまりはありません。歴史に興味のある子は、歴史上の人物についてどんどん調べてみればいい。昆虫の好きな子は、昆虫図鑑でおもしろい虫を見つけてみればいい。お料理に興味のある子は、お母さんと一緒に作ってみればいい。(将来パティシエールかも)

言わばミニ自由研究ですね。自由研究って夏休みにだけやるものではないと思っています。

「宿題 + 一人勉強」この学習習慣を身につけておけば、中学校へ進んでも、高校へ進んでも自力で学習する子になっていきます。

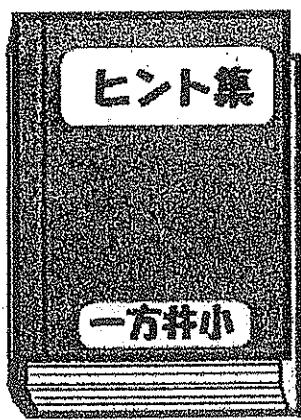


Q7 子供が自由に調べるといつても、うちには本も図鑑もありません。



そういう時こそ、学校の図書館や「ゆはずの図書館」を利用してください。たくさんの本の中から、お子さんが選んだ1冊。それこそお子さんの興味の塊(かたまり)であり、知的な好奇心を満たしてくれるものに違いありません。このごろでは、コンピュータを利用したり、インターネットで調べたりする方法もあります。

学級担任にもご相談ください。一緒に、お子さんに合った学習方法や学習内容を見つけていきましょう。



なまえ